

氏名	坂 口 孝 作
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	甲 第 560 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和58年9月30日
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学 位 論 文 題 目	Hepatocyte plasma membrane antigens I. Determination of antibodies bound to the plasma membrane of hepatocyte by ¹²⁵ I-protein A binding assay. (肝細胞細胞膜抗原 I. ¹²⁵ I-protein A binding assay による肝細胞細胞膜に結合する抗体の検出)
論 文 審 査 委 員	教授 木村郁郎 教授 太田善介 教授 折田薫三

学位論文内容の要旨

ヒト肝細胞細胞膜表面に存在すると考えられている liver-specific membrana lipoprotein (LP-1), Tamm-Horsfall glycoprotein (THGP) に対する抗体が、肝癌由来継代培養肝細胞 PLC/PRF/5, 正常肝由来継代培養肝細胞 Chang 肝細胞に結合することを確かめ、しかもその細胞膜結合抗体を ¹²⁵I-proten A binding assay にて測定可能とした。さらに、この方法を用い、慢性肝疾患患者血清中の抗細胞膜抗体を測定し、ルポイド肝炎、一部活動性慢性肝炎患者血清中に抗細胞膜抗体が存在することを認めた。また、ルポイド肝炎患者血清中には肝細胞膜に特異的な抗体が存在し、その認識抗原は一部 LP-1, THGP に交叉する抗原であることが示唆された。

論文審査の結果の要旨

本研究は肝細胞膜抗体に関する基礎的ならびに臨床的研究であるが、肝細胞膜抗原 (LP-1, THGP) に対する抗体が培養肝細胞に結合することから抗体の測定法を可能とし、臨床的にルポイド肝炎、一部活動性慢性肝炎患者血清中に存在することを認め、又ルポイド肝炎では肝細胞膜に特異的な抗体の存在することを認め、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。